

# △△△△△ 専門学校に学んだ卒業生の声

[IT系] ITエンジニア

## 「戦える武器」を得るため大学から専門学校に。 自信をもってITエンジニアの一步を踏み出しました

高校卒業後は大学に進学し、機械工学を専攻しました。3年生になり、同級生が就職活動を始めたのに影響されて「将来どうしようか」と考えたとき、いつの間にかものづくりに対する自分の興味が機械系からIT系に変化していることに気がきました。同じ学科にはIT企業を受ける人もいたのですが、やはり途中で路線変更した私がIT系学科の就活生と戦える武器は、スキルの証明となる資格しかない。そう思ったら卒業までの時間も惜しくなり、3年の夏に中退して専門学校を目指しました。母校を選んだのは資格取得の実績に加え、少人数で伸び伸びと学べる雰囲気が気に入ったからです。

この春就職したTOKAIコミュニケーションズは、ネットワーク系を主軸とするIT企業。企業間取引で発生する契約書や受発注書、納品書や請求書といった帳票を電子データとしてやり取りするEDIシステムが主力サービスで、自社専用回線やデータセンターも保有しています。

私はその部署の開発・保守チームに所属し、現在はシステムのバージョンアップにあたり、新しくリリースする機能の動作をテストしています。

とはいえ、研修を終えて間もない新人なので、この業務は勉強を兼ねたOJTの側面もあり、実際どう動くのか分からないままテストを行うことも。先輩のサポートのもとやり方を覚えながら、毎日新しい知識や経験を重ねるのは面白く、それが社会人になって初めてのやりがいと言えるかもしれません。一日でも早く自分が扱うサービスのプロになり、訊かれたことには何でも答えられるよう精通するのが当面の目標です。

またEDIシステムは顧客企業の環境に合わせたカスタマイズが必須なので、チームリーダーは要件定義など改修案件の上流工程も担当します。私もテストやプログラミングはもちろん、いずれはリーダーとしてチームを率いたい。資格を得て獲得した「戦える自信」は、ITの現場で確実に活かしています。



稲葉 達哉 さん

INABA TATSUYA

- 株式会社TOKAIコミュニケーションズ 勤務
- 駿台電子情報&ビジネス専門学校  
SEプログラマ科SEコース 2022年3月卒業
- 神奈川県立海老名高等学校出身

資格取得に意欲を燃やしていた稲葉さんは、専門学校入学前から資格の勉強を開始。在学中にOracle JavaのSilverやCCNA、基本情報技術者といった社会人でも難しい資格を含め5つを取得する成果を上げて表彰された。「私と同じ大学中退の方や社会人からの学生もいて、お互い励まし合えたことも力になりました」と振り返る。新入社員研修でもITの基礎から学ぶ文系出身の同期に大いに頼りにされた。